

2011年4月と10月の口之島における昆虫記録

金井賢一¹・守山泰司²

The recorded insects on Kuchino-shima (Tokara Islands) in April and October of 2011

Kenichi KANAI¹ and Taiji MORIYAMA²

はじめに

2011年4月および10月に筆者らは口之島の昆虫を調査する機会を得た。ここにその結果を公表する。

十島村は2004年に昆虫保護条例が制定されたことにより、記録の蓄積が難しくなっている。そこで県立博物館では基礎情報の収集・発表を目的とした調査を継続している。2011年は金井・守山（2012）で確認されたヒメシルビアシジミについて、大きな変化が見られた。それらに注目しながら春と秋の2回の調査を行い、興味深い結果が得られた。

なお、今回の調査のために便宜を図っていただいた十島村に深く感謝すると共に、記録の発表が遅れていることをお詫びする。

1 調査の日程（図1参照）

<4月>

4月8日（金）23：50 鹿児島発フェリーとしま

4月9日（土）6：05 口之島着

口之島集落～前之浜～岩屋口～戸尻～前岳林道～セランマ温泉～横岳～口之島集落（夕食）～戸尻上（灯火採集）

4月10日（日）口之島集落～戸尻～港：島内の移動は全てレンタカーにて行った。

14：15 口之島発フェリーとしま

20：30 鹿児島着

<10月>

9月30日（金）23：50 鹿児島発フェリーとしま

10月1日（土）6：05 口之島着

口之島集落～戸尻～セランマ温泉～横岳～前岳林道～口之島集落

10月2日（日）口之島集落～戸尻～前之浜～口之島集落，港：島内の移動は全てレンタカーにて

行った。

14：15 口之島発フェリーとしま

20：30 鹿児島着



図1 口之島調査地

2 調査者

<4月>

金井賢一：鹿児島県立博物館学芸主事

守山泰司：鹿児島県立博物館外部協力者，鹿児島昆虫同好会

<10月>

守山泰司：鹿児島県立博物館外部協力者，鹿児島昆虫同好会

守山小百合：鹿児島県立博物館外部協力者，鹿児島昆虫同好会

3 調査結果

以下に採集・観察した昆虫を記す。なお，4月の調査では採集者を金井：K，守山：Mと略記する。

¹ 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

² 鹿児島昆虫同好会

目や種の配列は琉球列島産昆虫目録(2002)を基本にしたが、新分類体系などになった場合には適宜改訂した。なお、採集年は全て2011年なので省略した。

<4月>

トンボ目(蜻蛉目) **ODONATA**

トンボ科 **Libellulidae**

ホソミシオカラトンボ *Orthetrum luzonicum*

岩屋口(1♂M 9.IV), 港(1♂K 10.IV)

共に未成熟個体であった。

他にウスバキトンボなどは見られなかった。

バッタ目(直翅目) **ORTHOPTERA**

キリギリス科 **Tettigoniidae**

クビキリギリス *Euconocephalus varius*

集落(1ex.M 9.IV)

琉球列島産昆虫目録(2002), バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑(2006)には、口之島の分布は記載されていない。

バッタ科 **Acrididae**

タイワンツチイナゴ *Patanga succincta*

港(1♂K 10.IV)

琉球列島産昆虫目録(2002), バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑(2006)には、口之島の分布は記載されていない。

トノサマバッタ *Locusta migratoria*

戸尻(1♂K 9.IV)

カメムシ目(異翅目) **HETEROPTERA**

ヘリカメムシ科 **Coreidae**

ホソハリカメムシ *Cletus punctiger*

港(1ex.K 10.IV)

ミナミトゲヘリカメムシ *Paradasynus spinosus*

集落(1ex.K 9.IV)

コウチュウ目(鞘翅目) **COLEOPTERA**

コガネムシ科 **Scarabaeidae**

ヒラタアオコガネ *Anomala octiescostata*

集落(7exs.M 9.IV), セランマ(1ex.K 9.IV)

戸尻(18exs.K 9.IV) (図2)

アオヒメハナムグリ *Gametis forticula forticula*

集落(4♂2♀M 9.IV), 戸尻(1♂K 9.IV),

岩屋口(3♂4♀K 9.IV) (図3)

琉球列島産昆虫目録(2002)ではオキナワコアオ

ハナムグリとなっているが、ここでは日本産コガネムシ上科図説第2巻(2007)の和名に従った。

テントウムシ科 **Coccinellidae**

オオフタホシテントウ *Lamnia biplagiata*

セランマ(1ex.K 9.IV)

ダングラテントウ *Menochilus sexmaculatus*

岩屋口(2exs.K 9.IV)

ハムシ科 **Chrysomelidae**

ウリハムシ *Aulacophora femoralis*

集落(1ex.K 9.IV), セランマ(1ex.K 9.IV),

戸尻(1ex.K 9.IV)

琉球列島産昆虫目録(2002)には、口之島の分布は記載されていない。

ヨモギハムシ *Chrysolina aurichalcea*

港(1ex.K 10.IV)

琉球列島産昆虫目録(2002)には、口之島の分布は記載されていない。

ゾウムシ科 **Curculionidae**

ホソヒョウタンゾウムシ *Sympiezomias cribricollis*

集落(6exs.K 9.IV)

琉球列島産昆虫目録(2002)には、口之島の分布は記載されていない。

ハチ目(膜翅目) **HYMENOPTERA**

ミツバチ科 **Apidae**

アマミクマバチ *Xylocopa amamensis*

集落(1♂M 9.IV), 戸尻(1♀M 9.IV) (1

♂1♀K 10.IV)

ニッポンヒゲナガハナバチ *Tetralonia nipponensis*

集落(1♂M 9.IV), セランマ(1♂K 9.IV),

戸尻(6♂K 9.IV), 岩屋口(1ex.K 9.IV)

琉球列島産昆虫目録(2002)および南西諸島産有剣アリ・ハチ類検索図説(1999)には、口之永良部・屋久島が分布の南限とされており、口之島の分布は記載されていない。

ツチバチ科 **Scoliidae**

アカアシハラナガツチバチ (図4)

Megacampsomeris mojiensis

集落(3♂K 1ex.M 9.IV), 岩屋口(1♀K 9.IV), 港(1♂1♀K 10.IV)

シロオビハラナガツチバチ

Megacampsomeris schulthessi

集落 (1 ♀ K 1 ex.M 9.IV), 戸尻 (1 ex.K 9.IV),
岩屋口 (3 ♀ K 9.IV)

スズメバチ科 Vespidae

セグロアシナガバチ *Polistes jokahamae*

集落 (1 ♀ M 9.IV)

キアシナガバチ *Polistes rothneyi*

戸尻 (4 ♀ K 9.IV), セランマ (1 ♀ K 10.IV)

ハエ目 (双翅目) DIPTERA

ケバエ科 Bibionidae

ヒメセアカケバエ *Penthetria japonica*

集落 (2 exs.K 9.IV)

ヤドリバエ科 Tachinidae

セスジハリバエ *Tachina (Eudoromyia) nupta*

戸尻 (1 ex.K 9.IV), 岩屋口 (1 ex.K 9.IV)

チョウ目 (鱗翅目) LEPIDOPTERA

セセリチョウ科 Hesperiiidae

イチモンジセセリ *Parnara guttata*

集落 (1 ♂ M, 1 ex.K 9.IV), 戸尻 (1 ♀ M10.IV)
発生初期と思われ, すべて新鮮な個体であった。

アゲハチョウ科 Papilionidae

アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*

戸尻 (6 ♂ M <うち 1 ♂ はエサキ型> 3 ♂ K
9.IV) (3 ♂ M 10.IV)

各地で多数見られた。

モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens*

セランマ (1 ♂ K 9.IV) (1 ♂ K 10.IV), 戸尻
(1 ♂ K 9.IV) (1 ♂ M 10.IV)

各地で普通に見られた。

カラスアゲハ *Papilio bianor tokaraensis* (図5)

セランマ (2 ♂ K 9.IV), 戸尻 (5 ♂ K 7 ♂ 1
♀ M 9.IV) (4 ♂ 1 ♀ K 2 ♂ M 10.IV)

やや局地的で, 前岳・焼岳山麓では多数見られたが,
集落内でほとんど見られなかった。台湾アキグ
ミやホウロクイチゴに訪花していた。やや汚損した
個体が多かった。

シロチョウ科 Pieridae

モンシロチョウ *Pieris rapae*

集落 (2 ♂ M 9.IV), 戸尻 (1 ♂ K 9.IV)

畑のアブラナのまわりでみられたが, 少なかった。

* ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*

確認できなかった。集落内には幼木から胸径 50cm
を超える大木までギョボクが少なからずあったが,
発生の痕跡も見られなかった。

シジミチョウ科 Lycaenidae

ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

戸尻 (4 ♂ 1 ♀ M 2 ♂ K 9.IV) (3 ♂ M 1 ♂
K10.IV), 集落 (2 ♂ M 9.IV), セランマ (1 ♂ 1
♀ K 10.IV), 港 (3 ♀ K 10.IV)

各地で普通に見られたが, 多くはなかった。

ルリシジミ *Celastrina argiolus*

戸尻 (1 ♀ M 1 ♂ K 9.IV)

少なかった。

* ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

確認できなかった。時期的にまだ発生していなかつ
た可能性もある。

タテハチョウ科 Nymphalidae

アカタテハ *Vanessa indica*

集落 (3 ♂ M 9.IV), 岩屋口 (1 ex.K 10.IV)
各地でみられたが, 少なかった。

ヒメアカタテハ *Cynthia cardui*

集落 (1 ex.K 9.IV)

少なかった。

ルリタテハ *Kaniska canace*

戸尻 (1 ♂ K 9.IV), 集落 (1 ♂ M 10.IV)

このほかにはみられなかった。ともに新鮮な個体
であった。

ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

戸尻 (1 ♂ 1 ♀ M 1 ♂ 1 ♀ K 9.IV) (1 ♀ M 1
♀ K 10.IV)

各地で普通に見られた。

アサギマダラ *Parantica sita*

戸尻 (1 ♂ M 10.IV), セランマ (1 ♀ M 10.IV)
各地で見られたが, 多くはなかった。

マダラガ科 Zygaenidae

ブドウスカシクロバ *Illiberis tenuis*

集落 (2 ♂ 1 ♀ K 9.IV)

ハマキガ科 Tortricidae

クロシオハマキ *Archips peratratus*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

ツトガ科 Crambidae

シロスジツトガ *Crambus argyrophorus*
戸尻上 (2 ♂ 1 ♀ K 9.IV)

スズメガ科 Sphingidae

ハネナガブドウスズメ *Acosmeryx naga*
戸尻上 (2 ♂ K 9.IV)

カギバガ科 Drepanidae

オオアヤトガリバ *Habrosyne fraterna japonica*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

アカウラカギバ *Hypsomadius insignis*
戸尻上 (4 ♂ K 9.IV)

シャクガ科 Geometridae

マダラチズモンアオシャク

Agathia ycaenaria chizumon
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

ヤクシマフトスジエダシャク *Cleora minutaria*
戸尻上 (4 ♂ 1 ♀ K 9.IV)

ナンカイキイロエダシャク *Doratoptera amabilis*
戸尻上 (1 ♀ K 9.IV)

コヨツメアオシャク *Comostola subtiliaria nympha*
戸尻上 (2 ♂ K 9.IV)

ウスキツバメエダシャク *Ourapteryx nivea*
戸尻上 (1 ♀ K 9.IV)

ツマキリウスキエダシャク *Pareclipsis gracilis*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

クロフオオシロエダシャク *Pogonopygia nigralbata*
戸尻上 (2 ♂ K 9.IV)

ホシミスジエダシャク *Racotis boarmiaria japonica*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

サツマヒメシャク *Scopula insolata*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

モンウスカバナミシャク *Eupithecia clavifera*
戸尻上 (1 ♀ K 9.IV)

シャチホコガ科 Notodontidae

ツマアカシャチホコ *Clostera anachoreta*
戸尻上 (4 ♂ K 9.IV)

ドクガ科 Lymantriidae

ゴマフリドクガ *Somena pulverea*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

シタキドクガ *Calliteara taiwana*
戸尻上 (7 ♂ K 9.IV)

ヒトリガ科 Arctiidae

スジモンヒトリ *Spilarctia seriatopunctata*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

コブガ科 Nolidae

ワタリング *Earias cupreoviridis*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

ヤガ科 Noctuidae

タイワンキシタアツバ *Hypena trigonalis*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

マルバネウスグロアツバ *Hydrillodes pacificus*
戸尻上 (1 ♀ K 9.IV)

コフサヤガ *Eutelia adulatricoides*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

マエモンコヤガ *Neustrotia japonica*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

アサケンモン *Plataplecta pruinosa*
戸尻上 (1 ♀ K 9.IV)

シマケンモン *Craniophora fasciata*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

テンオビヨトウ *Sesamia turpis*
戸尻上 (2 ♀ K 9.IV)

ヒメサビスジヨトウ *Athetis stellata*
戸尻上 (1 ♀ K 9.IV)

マエグロシラオビアカガネヨトウ
Phlogophora albovittata

戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

ミナミツマキリヨトウ *Callopietria nobilior*
戸尻上 (1 ♂ K 9.IV)

< 10月 >

チョウ目 (鱗翅目) **LEPIDOPTERA**

セセリチョウ科 Hesperiidae

チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

戸尻 (1 ♂ 1. X) (1 ♂ 2. X)

少ない。

イチモンジセセリ *Parnara guttata*

集落 (1 ♀ 1. X) (2 ♂ 2. X)

各地に普通。

*キマダラセセリ *Potanthus flavus*

かなり入念に探索したが、今回も確認することはできなかった。

このほか、クロセセリの記録があるが確認できなかった。

アゲハチョウ科 Papilionidae

アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*

各地で見られたが少なかった。

モンキアゲハ *Papilio helenus*

各地で見られたが少なかった。

クロアゲハ *Papilio protenor*

集落 (1 ♀ 2. X)

ほかには見かけなかった。

カラスアゲハ *Papilio dehaanii*

戸尻 (1 ♀ 1. X)

このほかに1 ♂目撃したのみ。

このほか、アゲハ、ナガサキアゲハ、シロオビアゲハの記録があるが確認できなかった。

シロチョウ科 Pieridae

ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*

集落 (1 ♂ 1 ♀ 5 蛹 1. X) (3 ♂ 2. X)

集落内で普通に見られた。すべて新鮮な個体で、ギョボクのひこばえに卵も多数見られたが幼虫は見られず、ステージが揃っている印象を受けた。1999年9月に訪れたときには1 ♂を目撃しているが、2000 (守山, 未発表), 2004 (中峯, 2005), 2009 (中峯・守山, 2010), 2010 (金井・守山, 2012a) と記録がなく、一時この島の個体群は消滅し、今年飛来した個体が継続していた可能性がある。

モンキチョウ *Colias erate*

戸尻 (1 ♂ 1 ♀ 1. X), 集落 (1 ♀ 2. X)

口之島初記録。このほかには見かけなかった。

このほか、記録のあるモンシロチョウ、ツマグロキチョウ、キチョウは確認できなかった。

シジミチョウ科 Lycaenidae

ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

戸尻 (1 ♂ 3 ♀ 1. X) (2 ♀ 2. X), 集落 (1 ♂ 2 ♀ 1. X) (1 ♀ 2. X)

各地に普通に見られた。

ツバメシジミ *Everes argiades*

前岳林道 (1 ♂ 1. X)

ヤハズソウの群落でシルビアシジミを探索中に採集した。

ルリシジミ *Celastrina argiolus*

戸尻 (1 ♀ 2. X)

このほかには見られなかった。

ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

集落 (1 ♂ 1. X), 戸尻 (1 ♀ 2. X)

少ない。

アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*

セランマ (1 ♂ 1. X)

少ない。

クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

集落 (1 ♂ 1. X) (1 ♂ 2. X)

集落内に普通に見られた。

*イワカワシジミ *Artipe eryx*

結実したクチナシは各地に見られたが、食痕も確認できなかった。

*ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

各地のヤハズソウ群落を入念に探索したが、確認することはできなかった。

*台湾ツバメシジミ *Everes lacturnus*

各地のシバハギ群落を入念に探索したが、今回も確認することはできなかった。

このほか、記録のあるムラサキツバメ、台湾クロボシシジミは確認できなかった。

タテハチョウ科 Nymphalidae

ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

集落 (1 ♂ 1. X) (1 ♂ 2. X)

少ない。

アカタテハ *Vanessa indica*

集落 (1 ♀ 1. X)

少ない。

リュウキュウムラサキ *Hypolimnas bolina*

集落 (1 ♀ 台湾型 1. X)

口之島初記録。迷蝶。

ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda*

集落 (1 ♂ 秋型 1. X)

ほかには確認できなかった。

リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

少ない

このほか、記録のあるルリタテハ、タテハモドキ、

イシガケチョウ, ツマグロヒョウモン, アサギマダラ, カバマダラは確認できなかった。また, 10月1日に戸尻で青くないルリマダラの仲間を目撃している(数回目撃したがおそらくは1個体)が不詳である。

おわりに

2010年秋には確認できたヒメシルビアシジミ(金井・守山, 2012a)が, 2011年4月, 10月共に確認できなかった。分布しないことを確定するのは非常に困難だが, 口之島において地域の個体群が消滅した可能性がある。このことについて, 2012年12月には日本昆虫学会・日本鱗翅学会九州支部会での口頭発表も行い, 講演要旨が日本昆虫学会九州支部会報 PULEX に掲載された(金井・守山, 2012b)。本書は以下のアドレスから pdf 書類で入手できる。

http://entosockyushu.web.fc2.com/Pulex_No91.pdf

ヒメシルビアシジミとタイワンツバメシジミについては, トカラ列島は消長・分布の有無などにおいて非常に興味深いフィールドであり, 今回報告した調査後も継続して調査している。特にヒメシルビアシジミについては, 今後口之島に再び侵入する可能性がある。折を見て確認を続けていくことが大切であると共に, 1~2年以内にトカラ列島全体の状況

をまとめたいと思う。

引用文献

- 金井賢一・守山泰司(2012a) 2010年10月口之島・中之島における昆虫記録. 鹿児島県立博物館研究報告書, 31:67-72.
- 金井賢一・守山泰司(2012b) トカラ列島における近年のヒメシルビアシジミ調査. PULEX, 91:588.
- 中峯浩司(2005) トカラ列島口之島2004年3月の昆虫. 鹿児島県立博物館研究報告書, 24:46-51.
- 中峯浩司・守山泰司(2010) 2009年秋トカラ列島口之島・諏訪之瀬島・宝島のチョウ類. 鹿児島県立博物館研究報告書, 29:55-64.
- 日本直翅類学会(2006) バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑, 687pp. 北海道大学出版会, 北海道.
- 酒井香・藤岡昌介(2007) 日本産コガネムシ上科図説(2) 食葉群 I, 173pp. 昆虫文献六本脚, 東京.
- 山根正氣・幾留秀一・寺山守(1999) 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説, 831pp. 北海道大学図書刊行会, 北海道.
- 屋富祖・金城・林・小濱・佐々木・木村・河村(2002) 増補改訂琉球列島産昆虫目録, 570pp. 沖縄生物学会, 沖縄県.



図2 グミを訪れるヒラタアオコガネ



図3 アオヒメハナムグリの交尾



図4 ハマウドで吸蜜する
アカアシハラナガツチバチ



図5 グミを吸蜜するカラスアゲハ